真下（ました） 紀子（のりこ） 安心して暮らせる北海道を

日本共産党

真下 紀子 プロフィール

1956年、十勝・豊頃町の酪農家に生まれる
帯広三条高校、北大看護学校卒業
旭川医大病院、のびろ保育園などで看護師
新婦人、子育て「やんちゃりか」たちあげる
趣味；ホットヨガ、読書、早わざ料理
家族；夫、一男一女、母、エヴァン

全力疾走！

みなさんに支えられて
4期16年

ウルトラマンと呼ばれる道議会の「仕事人」

道民の声を発言できるのは道議だけ、道議会初の女性会派代表となり、その思いをいっそうつのらせた真下議員。７年がかりで遠隔地の妊産婦健診・出産支援助成を実現。旭川高等支援学校設置と旭川療育センター改修、就学援助の拡充など市民の要望に応えてきました。

国内初のブラックアウト、原因は大規模電源の集中立地だと指摘し、自然エネで自立分散型電源を提案。被災地に直ちに向かい、復旧復興に奔走してきました。真下道議の電力会社のやらせ追及は全国で報道され、自然エネ調査は副読本にとりあげられました。

真下紀子は提案します

食の産業　自然エネ　医療福祉
安心して暮らせる北海道を

北海道は農産物の輸入拡大で農業が壊され、大型開発を優先し医療や福祉は切り捨てられ、被災したＪＲ路線は復旧されず、カジノ推進など、安倍政治の地方壊しの旗振り役となってきました。

私は、国いいなりの道政を転換し、食糧を生産できる大地とエネルギー源の自然をいかし、北海道らしい仕事づくりに転換するために力を尽くします。

医療や福祉、介護など、ゆきとどいた社会保障で、誰もが大切にされる道政をつくるために、厳しいチェックと建設的な提案に全力でとりくんでいきます。

私は、看護師の使命である「命」を守ることを政治信条に、安心して命をつなぎ、平和に住み続けられる北海道のために、これからも全力疾走で頑張っていきます。

女性の願いは真下紀子とともに

新日本婦人の会旭川支部
支部長　帰山育子さん
いつも全力疾走の真下さんに励まされています。平和、子育てなど、命を守る道政へ、女性の願いを託せる真下さんを応援します。

旭川民主商工会
婦人部長　小林陽子さん
中小業者の営業と暮らしを守り、女性の地位向上に奮闘する共産党の真下紀子道議の議席は、消費税10％ストップのために絶対必要です。

道北勤医協一条通病院
看護師長　加藤千鶴子さん
療養が必要なのに負担が高すぎて自宅に帰らざるを得ない状況に胸がつまります。命を大事にしない政治を看護師の真下さんと一緒に変えたい。

訪問介護ステーションひろがり
所長　下間はるみさん
介護は命とくらしの支えです。訪問介護の時間短縮や利用制限はやめてほしい。介護職員の処遇改善の実現を期待します。

書と絵手紙サークル
代表　大浦真理子さん
漢字一字を書いた。それは“命”。書のパフォーマンスをした時だ。命を大切にする政治の心が真下さんから伝わってきた。

きょうされん理事
利用者部会長　林　優子さん
JRのライラックに車いす用の座席がなく、寒かったことをＳＮＳに投稿。真下さんが道議会でとりあげてくれて車椅子優先スペースが実現。私たちに欠かせない議席です。

道議会になくてはならない議席

酪農学園大学名誉教授
中原准一さん

ＪＲの路線存続、カジノ誘致反対、災害復旧などで真下道議は率先して道議会でとりあげ、道政を動かす中心です。道議会になくてはならない議席。益々の活躍を期待しています

これからも市民と一緒に地域・命を守りたい

国保料の引き下げに道開く

国民健康保険は北海道の運営となりましたが、「保険料を決めるのは市町村です」、真下道議の質問に道も認めざるをえませんでした。これまで同様、市町村の判断で保険料を引き下げて、払いやすくできることを確認しました。

旭川市では、子育て世帯の保険料が引き下げとなりました。命と健康を守るための社会保障として、これからも改善を求めていきます。

子どもの貧困対策、医療費助成の拡充を

真下道議は、子どもの貧困調査を実施させました。就学援助の利用の周知、入学前準備金の事前支給とクラブ活動費も対象に拡大、就学援助世帯の無料低額診療の利用周知、働いても生活保護基準に満たない場合は保護を利用できることを知らせ、くらしの支援を行ってきました。

給付型奨学金の創設、保育料完全無償化や子どもの医療費助成の拡充などにいっそう頑張ります。

赤字の新幹線より地方路線の存続を！

経営安定基金の運用益不足など、ＪＲ北海道の赤字経営の責任は国にあると指摘した真下道議。北海道新幹線の建設費約１１６０億円を負担する北海道ですが、札幌延伸で建設費は一層膨らみます。国とＪＲ北海道は新幹線事業の見直しを！かけがえのない地方路線は国の責任で存続を！広大な北海道の公共交通・北海道の観光資源として活用を、提案し、力を合わせていきます。

真下紀子は黙っていません　調査と提案

ブラックアウト　原発ゼロを急げ

ブラックアウトで泊原発は外部電源を喪失、モニタリングポストも使用不能。バス避難の運転手の確保が困難、被爆の危険も明らかにしました。

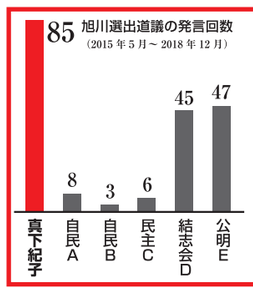
北電のやらせと、役員から知事への献金、道ＯＢの北電天下りなど、次々明らかにしました。

自然再生エネルギーで地産地消を提案し続け、小水力とバイオマスの推進協議会が設置されました。急いで原発ゼロを実現させましょう。

カジノより地場産業の支援を

安倍政権の下請けのような高橋道政はギャンブル依存症を生み出すカジノ誘致に前のめりです。

人の不幸で利益を上げるカジノに反対！　大好きな北海道でバリアフリー観光を、北海道の豊かな自然と食を生かした観光を、農業・漁業・林業の担い手対策で北海道の地場産業の発展を求めています。



発言 No.1

道議会での発言回数は旭川で断トツのナンバーワン。

初当選以来の道政報告・はつらつ道政レポートは307号、ホームページやＳＮＳでも活動を発信し続けています。

むだなダムより災害対策を

継続中の３ダム事業は当初予算から１３８１億円もの増額です。事業費を増やさないという知事意見が反映されていないと追及。見通しの甘さを厳しく批判し、堤防強化・河床掘削など災害対策となる公共事業費の増額を求め、ペーパン川などの改良復旧が実現しました。

ストップ！　消費税10％　９条改憲　原発再稼働

みなさんの声をお寄せ下さい。
真下紀子　検索

旭川新報
2019年1・2月号外
発行：旭川新報社
■日本共産党旭川地区委員会は真下紀子氏の政策を発表しました。
■日本共産党旭川地区委員会 旭川市３条16丁目 0166-26-1291